

令和7年度 第3回与謝野町公共施設等マネジメント推進委員会 会議報告書（要約）

日 時 令和8年2月16日（月）午後7時00分～午後9時00分

場 所 岩滝保健センター 会議室1・2

出席者

委員（敬称略）

川勝 健志 （オンライン）	青山 公三 （オンライン）	杉岡 秀紀 （オンライン）	佐々木 和代
西川 明宏			

欠席：坂中 綾香

町長

山添 藤真			
-------	--	--	--

事務局

傍聴者 1名

会議の日程

1. 開会
2. 町長挨拶
3. 議事
 - （1）よさのみらい会議からの提案書（くらしづくり分科会）を踏まえた第3次総合計画基本構想（方針5）の論点整理について
 - （2）第2次与謝野町公共施設等総合管理計画の策定について
 - （3）その他（公共施設等総合管理計画の実施状況について）
4. 閉会挨拶

会議の経過

1. 開会
 - ・事務局の司会で開会した。

2. 町長挨拶

- ・本委員会における委員の皆様の議論は町政運営にとって大きな学びになっており、公共施設のあり方を考えるだけではなく、実行に移していかなければならないと思っている。
- ・与謝野町は合併から20年を迎える節目にあり、振り返ると、合併に係る議論等には当時の皆様方の思いが非常に込められており、庁舎のあり方は重要な課題として位置付けられている。
- ・与謝野町における行財政運営、とりわけ庁舎におけるあり方を議論する際には、住民の皆様方の意向を十分に踏まえていく必要があると考えている。
- ・本日の会議では、20年を振り返るとともに、未来を考えていくような時間になることを期待している。

3. 議事

(1) よさのみらい会議からの提案書（くらしづくり分科会）を踏まえた第3次総合計画基本構想（方針5）の論点整理について

- ・事務局より、資料にもとづいて説明が行われた後、委員長から総合計画策定審議会における議論の状況についての報告があった。
⇒審議会においては、庁舎のあり方についてワークショップ形式で意見交換を行ったが、住民にとって庁舎は日常的に利用する機会が少ない施設であることから、具体的な意見が出にくい状況が見られた。その一方で、行政手続きのオンライン化やコンビニエンスストアでの証明書発行など、庁舎以外で行政サービスを利用できる仕組みが拡大していることから、庁舎の役割そのものが変化しつつある。
- ・委員長報告も踏まえ、質疑を行った。
- ・庁舎を単なる行政手続きの場として捉えるのではなく、周辺空間の活用や交流機能の導入などを含めた複合的な拠点として検討することが必要。具体的には、図書館や交流スペースなどの公共機能を併設することで、町民が日常的に利用できる拠点となり得るのではないか。
- ・庁舎や公共施設の議論は住民にとって関心を持ちにくいテーマであることから、住民参加の機会を多様な形で確保し、幅広く意見を聴取する必要があるのではないかと。
- ・行政のデジタル化が進展する中で、将来的には行政サービスの提供方法が大きく変化する可能性があることから、庁舎の役割や機能についてもその変化を見据えて検討する必要がある。

(2) 第2次与謝野町公共施設等総合管理計画の策定について

- ・事務局より、現行の公共施設等総合管理計画の見直しに向けた基本的な考え方について説明が行われた後、質疑を行った。
- ・公共施設の再編を検討する際には、単に施設の数や面積を削減するという視点だけでなく、どのような行政サービスを住民に提供していくのかという観点から検討を行うことが重要である。
- ・人口減少や施設の老朽化が進む中においても、施設機能の集約や複合化を図ることでサービスの質を維持・向上させる「縮充」の視点が重要である。
- ・財政制約や将来的な維持管理費の増大といった課題もあることから、理想的な施設配置と財政的な持続可能性の両面を踏まえた計画とする必要がある。
- ・計画策定にあたっては、よさのみらい会議だけでなく、町政懇談会や地域での意見交換など様々な機会を活用しながら住民の意見を聴取し、合意形成を図ることが重要である。
- ・行政手続きのオンライン化を進めることで、庁舎に来庁する必要性は今後減少する可能性があるため、庁舎機能をコンパクトにすることも検討すべき。
- ・新庁舎を整備する場合には、図書館や交流施設、子育て支援機能などとの複合化を図ることで、町民が利用しやすい拠点となる可能性がある。
- ・新庁舎の整備を検討する際には、現在の庁舎の跡地利用についても同時に検討する必要がある。
- ・高齢化社会を見据え、公共交通の確保や新たな移動手段の検討など、庁舎へのアクセスの観点も重要である。

(3) その他（公共施設等総合管理計画の実施状況について）

- ・事務局より、資料に基づき説明が行われたが、質疑はなかった。

<町長コメント>

- ・各議題において、多様な視点から議論を掘り下げていただき、例えば公共施設の役割が変わりつつあるなど、皆様からの発言には、それぞれ学びがあった。
- ・自分の原体験として、災害時に役場に避難されてきた住民の方との触れ合い等の中で、役場は頼られていると感じている。
- ・役場の機能は、より便利で、より効率的に提供していくことが求められ、それを充実させていくことは非常に重要なことと考える。
- ・一方で、災害時だけではなく、日常時においても、多くの住民の皆さん方が、職員のこと

を信頼して足を運んでくださるような場所でもありたいと思う。

- ・庁舎の問題については、総合計画と連動させながら、住民の皆様には選択肢を提案していく準備も必要なのではないかと考えている。

4 閉会（副委員長挨拶）

- ・副委員長より閉会のあいさつが行われ、閉会した。